



# 岡山県西部衛生施設組合 新ごみ焼却施設整備事業に係る環境影響評価 準備書のあらまし

令和4年2月 岡山県西部衛生施設組合

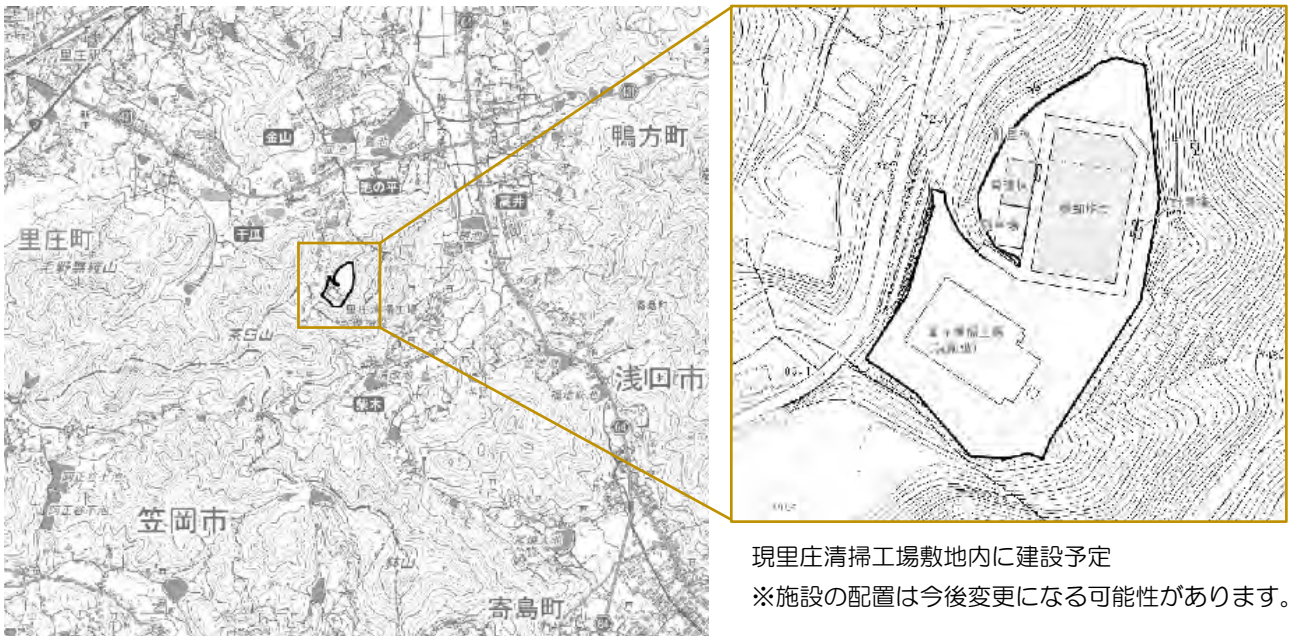


# 1.

## 対象事業の概要

岡山県西部衛生施設組合を構成する3市2町（笠岡市、井原市、浅口市、矢掛町、里庄町）では、既存の里庄清掃工場及び井原クリーンセンターを集約した全域のごみ処理を行う焼却施設の新設を計画しています。新焼却施設は、令和8年度の供用開始を目標とし、既存施設よりも環境負荷の少ない安全・安心な施設はもとより、余熱利用による発電を行うなど経済的・効率的な施設とする計画です。

事業者	岡山県西部衛生施設組合	面積	約2ha（内、開発面積は約1ha）
事業の名称	新ごみ焼却施設整備事業	処理方式	ストーカ式焼却炉
事業の種類	一般廃棄物焼却施設の設置	処理能力	130t/日（65t/24h×2炉）
位置	岡山県浅口郡里庄町大字新庄3655番地	煙突高さ	地上59m



# 2.

## 環境影響評価の項目

事業計画の内容と地域の特性から、環境影響評価項目は下表のとおり13項目を選定しました。（環境影響評価については6ページをご参照下さい。）

環境要素	工事の実施			存在・供用		
	建設機械の稼働	土地の改変	工事用車両等の走行	施設の存在	施設の稼働	廃棄物運搬車両等の走行
大気質	●	●	●		●	●
騒音	●		●		●	●
振動	●		●		●	●
悪臭					●	
水質		●				
土壌		●			●	
動物		●		●		
植物		●		●		
生態系		●		●		
景観				●		
人と自然との 触れ合い活動の場	●		●		●	●
廃棄物等		●			●	
温室効果ガス等	●		●		●	●

### 3.

## 環境影響評価の結果

選定した環境影響評価項目のうち、特に留意が必要な項目（大気質、騒音、振動、悪臭）の環境影響評価の内容は以下のとおりです。

### ■大気質（工事の実施による影響）

項 目		結 果 の 概 要				
現況調査結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等はすべて環境基準等を満足していました。</li> </ul>				
予測 評価	建設機械の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械の稼働に伴う大気質の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul>				
		<b>■二酸化窒素</b> <span style="float: right;">単位：ppm</span>				
		予測地点	年平均値	日平均値の年間98%値	環境保全目標 (日平均値の年間98%値)	適合
		敷地境界	0.0259	0.05	0.04~0.06 以下	○
	<b>■浮遊粒子状物質</b> <span style="float: right;">単位：mg/m<sup>3</sup></span>					
	予測地点	年平均値	日平均値の2%除外値	環境保全目標 (日平均値の2%除外値)	適合	
	敷地境界	0.0171	0.04	0.10 以下	○	
	土地の改変	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地の改変に伴う粉じん等の予測結果は、夏季において環境保全目標をわずかに上回りました。ただし、この予測結果には環境保全措置による低減効果が含まれていないので、工事中の事後調査により確認します。</li> </ul>				
		<b>■粉じん等</b> <span style="float: right;">単位：t/km<sup>2</sup>/月</span>				
		予測地点	時期	予測結果	環境保全目標	適合
敷地境界		秋季	7.31	10	○	
		冬季	8.88		○	
	春季	9.11	○			
	夏季	10.07	×			
工事用車両等の走行	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両等の走行に伴う大気質の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul>					
	<b>■二酸化窒素</b> <span style="float: right;">単位：ppm</span>					
	予測地点	年平均値	日平均値の年間98%値	環境保全目標 (日平均値の年間98%値)	適合	
	道路沿道 <sup>注</sup>	0.007055	0.018	0.04~0.06 以下	○	
	<b>■浮遊粒子状物質</b> <span style="float: right;">単位：mg/m<sup>3</sup></span>					
	予測地点	年平均値	日平均値の2%除外値	環境保全目標 (日平均値の2%除外値)	適合	
	道路沿道 <sup>注</sup>	0.0150050	0.039	0.10 以下	○	
<small>注) 計 4 地点の予測地点のうち、工事用車両が最も集中すると想定される対象事業実施区域北側道路沿道における予測結果を記載しています。</small>						
環境保全措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械は、排出ガス対策型機械を使用し、整備点検を徹底します。</li> <li>建設機械の稼働が集中しないよう、時期や配置の分散に努めます。</li> <li>アイドリングストップの遵守等、作業員への指導・徹底を行います。</li> <li>仮囲いの設置、散水やシートの被覆により粉じん飛散を防止します。</li> </ul>				
事後調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中は、工事区域敷地境界で粉じんの調査を実施し、環境保全措置の効果を検証します。</li> </ul>				

■大気質（存在・供用による影響）

項目		結果の概要			
現況調査結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類、水銀はすべて環境基準等を満足していました。</li> </ul>			
予測評価	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の稼働に伴う大気質の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> <li>施設の煙突排ガスの最大着地濃度は、施設の北側約 660m の地点に出現すると予測されます。</li> </ul>			
		■長期平均濃度（年間の平均的な気象条件をもとに予測した濃度）			
		項目	予測結果	環境保全目標	適合
		二酸化硫黄（ppm）	0.0035	0.04 以下	○
		二酸化窒素（ppm）	0.0094	0.04～0.06 以下	○
		浮遊粒子状物質（mg/m <sup>3</sup> ）	0.0232	0.10 以下	○
	水銀（μgHg/m <sup>3</sup> ）	0.0020	0.04 以下	○	
	ダイオキシン類（pg-TEQ/m <sup>3</sup> ）	0.0168	0.6 以下	○	
	■短期高濃度（影響濃度が大きくなる短時間の気象条件をもとに予測した濃度）				
	項目	予測結果	環境保全目標	適合	
二酸化硫黄（ppm）	0.0225	0.1 以下	○		
二酸化窒素（ppm）	0.0405	0.1～0.2 以下	○		
浮遊粒子状物質（mg/m <sup>3</sup> ）	0.0795	0.20 以下	○		
塩化水素（ppm）	0.0192	0.02 以下	○		
廃棄物運搬車両等の走行	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物運搬車両等の走行に伴う大気質の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul>				
	■二酸化窒素 <span style="float:right">単位：ppm</span>				
	予測地点	年平均値	日平均値の年間 98%値	環境保全目標（日平均値の年間 98%値）	適合
	道路沿道 <sup>注</sup>	0.007121	0.018	0.04～0.06 以下	○
	■浮遊粒子状物質 <span style="float:right">単位：mg/m<sup>3</sup></span>				
	予測地点	年平均値	日平均値の 2%除外値	環境保全目標（日平均値の 2%除外値）	適合
道路沿道 <sup>注</sup>	0.0150079	0.039	0.10 以下	○	
注）計 4 地点の予測地点のうち、廃棄物運搬車両が最も集中すると想定される対象事業実施区域北側道路沿道における予測結果を記載しています。					
環境保全措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却炉の適切な燃焼管理・監視を行います。</li> <li>廃棄物運搬車両の維持管理を徹底します。</li> <li>走行速度の遵守や、アイドリングストップ、空ぶかしの防止等、運転手の教育・指導を徹底する。</li> </ul>			
事後調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>供用後に調査を実施し、施設の稼働状況が適切であることを確認します。</li> </ul>			

～大気質に係る単位の解説～

ppm : 100 万分の 1 を示す単位。大気質の 1ppm は 1m<sup>3</sup>中の 1cm<sup>3</sup>を示す。

mg/m<sup>3</sup> : 1m<sup>3</sup>の大気中に浮遊粒子状物質が何 mg あるかを示す単位。

t/km<sup>2</sup>/月 : 1 ヶ月間に、1km<sup>2</sup>あたり何 t の粉じんが降下したかを示す単位。

μgHg/m<sup>3</sup> : μg（マイクログラム）は 100 万分の 1g を示す単位。1m<sup>3</sup>の大気中に水銀 Hg（水銀蒸気）が何 μg あるかを示す単位。

pg-TEQ/m<sup>3</sup> : pg（ピコグラム）は 1 兆分の 1g を示す単位。TEQ は毒性等量といい、多くの異性体があるダイオキシン類を毒性の強さで換算した値。pg-TEQ/m<sup>3</sup>は 1m<sup>3</sup>中に毒性換算されたダイオキシン類が何 pg あるかを示す単位。

■騒音・振動（工事の実施による影響）

項目		結果の概要																		
現況調査結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境騒音/振動、道路交通騒音/振動は環境基準または規制基準を満足していました。</li> </ul>																		
予測評価	建設機械の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械の稼働に伴う騒音/振動の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：デシベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標</th> <th>適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">騒音</td> <td rowspan="2">敷地境界</td> <td>71</td> <td>85</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>66</td> <td>75</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合	騒音	敷地境界	71	85	○	振動	66	75	○
		項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合														
		騒音	敷地境界	71	85	○														
	振動			66	75	○														
工事用車両等の走行	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両等の走行に伴う騒音/振動の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：デシベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標</th> <th>適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td rowspan="2">道路沿道<sup>注</sup></td> <td>63</td> <td>65</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>34</td> <td>55</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合	騒音	道路沿道 <sup>注</sup>	63	65	○	振動	34	55	○	
	項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合															
騒音	道路沿道 <sup>注</sup>	63	65	○																
振動		34	55	○																
		注) 計 4 地点の予測地点のうち、工事用車両が最も集中すると想定される対象事業実施区域北側道路沿道における予測結果を記載しています。																		
環境保全措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音・低振動型機械を使用し、整備・点検を徹底します。</li> <li>建設機械及び工事用車両の集中稼働を避け、効率的稼働に努めます。</li> <li>建設機械は日中の稼働を基本とし、原則、夜間の稼働は行いません。</li> <li>対象事業実施区域の外周に仮囲いまたは防音シートを設置します。</li> <li>工事期間中は騒音・振動を測定し、周辺環境の保全に配慮します。</li> </ul>																		
事後調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中に調査を実施し、周辺環境へ配慮した適切な工事が実施されているかを確認します。</li> </ul>																		

■騒音・振動（存在・供用による影響）

項目		結果の概要																																						
現況調査結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境騒音/振動、道路交通騒音/振動は環境基準または規制基準を満足していました。</li> </ul>																																						
予測評価	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の稼働に伴う騒音/振動の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：デシベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>区分</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標</th> <th>適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">騒音</td> <td rowspan="4">敷地境界</td> <td>朝</td> <td>47</td> <td>60</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>61</td> <td>65</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夕</td> <td>46</td> <td>60</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td rowspan="2">敷地境界</td> <td>昼間</td> <td>39</td> <td>65</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>35</td> <td>60</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					項目	予測地点	区分	予測結果	環境保全目標	適合	騒音	敷地境界	朝	47	60	○	昼間	61	65	○	夕	46	60	○	夜間	46	50	○	振動	敷地境界	昼間	39	65	○	夜間	35	60	○
		項目	予測地点	区分	予測結果	環境保全目標	適合																																	
		騒音	敷地境界	朝	47	60	○																																	
				昼間	61	65	○																																	
夕				46	60	○																																		
夜間				46	50	○																																		
振動	敷地境界	昼間	39	65	○																																			
		夜間	35	60	○																																			
廃棄物運搬車両等の走行	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物運搬車両等の走行に伴う騒音/振動の予測結果は、環境保全目標を満足します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：デシベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標</th> <th>適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td rowspan="2">道路沿道<sup>注</sup></td> <td>64</td> <td>65</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>34</td> <td>55</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合	騒音	道路沿道 <sup>注</sup>	64	65	○	振動	34	55	○																					
	項目	予測地点	予測結果	環境保全目標	適合																																			
	騒音	道路沿道 <sup>注</sup>	64	65	○																																			
振動	34		55	○																																				
		注) 計 4 地点の予測地点のうち、工事用車両が最も集中すると想定される対象事業実施区域北側道路沿道における予測結果を記載しています。																																						
環境保全措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音型設備を選定し、大きな騒音が伴う機器は防音室に収納します。</li> <li>低振動型設備を選定し、強固な基盤上に設置します。必要に応じて、独立基礎にするなど効果的に防振基礎を設置します。</li> <li>ドアや窓の開放状態を避けるよう日常的な管理を行います。</li> <li>廃棄物運搬車両の走行ルートは、可能な限り国道または県道等の車道幅員が広いルートを設定します。</li> </ul>																																						
事後調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>供用後に調査を実施し、施設の稼働状況が適切であるかを確認します。</li> </ul>																																						

## ■悪臭（存在・供用による影響）

項 目		結果の概要												
現況調査結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定悪臭物質（22 物質）はすべて規制基準を満足していました。</li> <li>・臭気指数は、現施設の敷地境界及び周辺集落 4 地点すべてで 10 未満でした。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>におい・かおりの種類</th> <th>臭気指数のめやす</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郊外のきれいな空気</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工業地域の空気</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ウメの花</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>道路沿道の空気</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>花火をしている時</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	におい・かおりの種類	臭気指数のめやす	郊外のきれいな空気	0	工業地域の空気	5	ウメの花	10	道路沿道の空気	15	花火をしている時	20
におい・かおりの種類	臭気指数のめやす													
郊外のきれいな空気	0													
工業地域の空気	5													
ウメの花	10													
道路沿道の空気	15													
花火をしている時	20													
予測評価	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の稼働に伴う悪臭の予測結果は、周辺への悪臭の影響が最大となる気象条件を想定した場合においても、全地点で臭気指数 10 未満と予測されました。このことから、特定悪臭物質（22 物質）もすべて環境保全目標を満足すると予測されます。</li> </ul>												
環境保全措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみピットから発生する空気は吸引し、焼却炉内で熱分解します。また、必要に応じて脱臭設備を通じ、屋外に排出します。</li> <li>・ごみピット内は負圧に保つほか、プラットホーム出入口には高速シャッター及びエアカーテンを設置して臭気の漏洩を防止します。</li> </ul>												
事後調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・供用後に周辺地点で悪臭調査を実施し、施設が適切に稼働しているかを確認します。</li> </ul>												

## ■その他の項目

その他の項目の環境影響評価の内容は以下のとおりです。

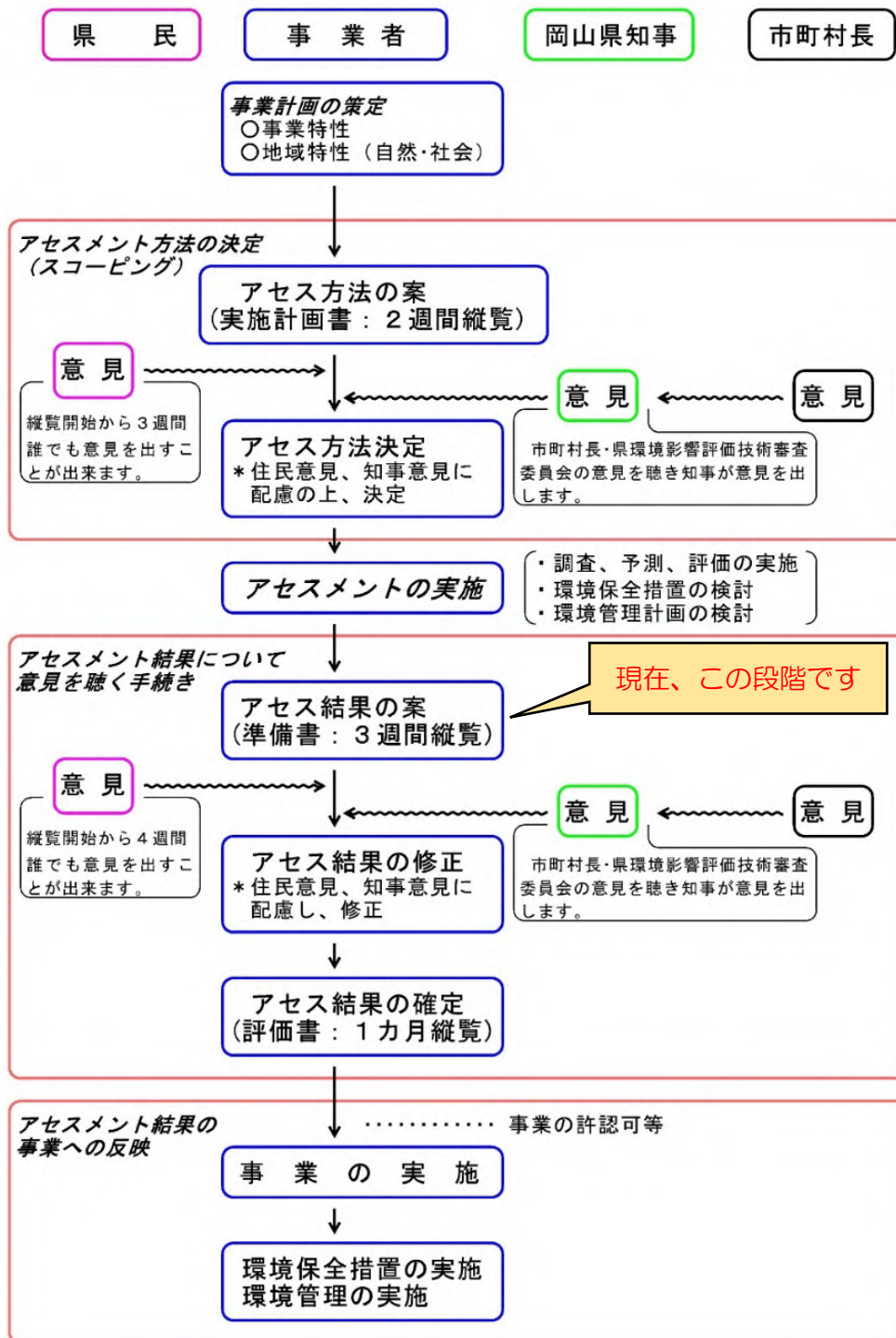
項 目	結果の概要
水 質	工事に伴い発生する濁水については、工事区域内に設ける仮設沈砂池により濁水処理を行い公共用水域に放流します。これにより、環境保全目標を満足すると予測されます。
土 壌	工事区域内の土壌は、環境基準を満足する良好な状態です。工事においては、土壌汚染の原因となるような物質は使用しないほか、発生する土砂は、場内利用を基本とするため周辺への土壌の影響はないと予測されます。
動 物	対象事業実施区域及び周辺で重要な種が確認されたものの、本事業により、これらの種の生育環境を大きく改変しないため、影響は小さいと予測されます。
植 物	対象事業実施区域周辺において重要な種が確認されたものの、本事業により、本種の生育環境の直接的改変及び施設の存在に伴う日照などの影響も及ばないため、影響はないと予測されます。
生 態 系	生態系で重要な生息環境基盤である樹林は、改変予定範囲に含まれていません。また、本事業周辺の環境における生態系の注目種（ホンドテン、ハイタカ、コナラ群落、ニホンアカガエル、スズメ）の生育環境も大きく改変しないため、影響は小さいと予測されます。
景 観	周辺からは現里庄清掃工場が既に視認できるため、新焼却施設の建設によって眺望景観に生じる変化の程度は小さいと予測されます。
人と自然との 触れ合い活動の場	対象事業実施区域周辺の登山道等の直接改変は行いません。また、施設からの騒音、振動及び悪臭の影響は環境保全措置により可能な限り回避・低減されるため、影響は小さいと予測されます。
廃 棄 物 等	工事の実施に伴い発生する廃棄物の約 70%を再資源化できるものと予測されます。また、施設の稼働に伴い発生する焼却残渣は処分先の最終処分場で適切に処分を行います。
温室効果ガス等	新焼却施設から発生する温室効果ガス排出量は、発電に伴う削減量分も考慮すると、既存施設と比較して 65%程度に減少すると予測されます。

# 4.

## 環境影響評価の手続きの流れ

環境影響評価（環境アセスメント）とは、事業者が事業内容など、その詳細を決定するにあたり、あらかじめその事業に係る環境への影響について、事業者が自ら調査・予測評価を行い、周辺住民や県知事及び市町村長、専門家などから環境保全上の見地からの意見を踏まえて環境に配慮した事業計画とする手続きのことです。

事業の実施に必要な各種関係法令による許認可、工事着手は環境影響評価の終了後に行われます。環境影響評価の手続きの概要は以下のとおりです。



出典：「環境影響評価の手続きのあらまし」（岡山県）

## 5.

## 事業スケジュール

新焼却施設は、令和8年度（2026年度）の供用開始を目標としています。

項目	年度							
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
施設基本計画その1								
事業手法の検討								
環境影響評価								
実施計画書手続き		■						
現地調査			■					
準備書手続き				■				
評価書手続き								
施設基本計画その2		■						
事業者選定								
測量調査、ボーリング調査								
建設工事（設計・建設）					想定工期：45か月程度			
供用開始								

## 6.

## 環境影響評価準備書の縦覧について

縦覧場所	縦覧期間	縦覧時間
岡山県西部衛生施設組合 岡山県笠岡市平成町 100 番地	令和4年2月28日（月） ～ 令和4年3月22日（火） ※土日、祝日を除く	午前8時30分 ～ 午後5時15分
岡山県西部環境整備施設組合 岡山県浅口郡里庄町大字新庄 3655 番地		
笠岡市役所 市民生活部環境課 岡山県笠岡市笠岡 2369 番地 14		
浅口市役所 生活環境部環境課 岡山県浅口市鴨方町六条院中 3050 番地		
里庄町役場 町民課 岡山県浅口郡里庄町大字里見 1107 番地 2		

※準備書は、岡山県西部衛生施設組合ホームページ（<http://seibueisei.or.jp/index.php/news/>）でもご覧いただけます。

準備書について、環境の保全の見地からのご意見をお持ちの方は、「氏名、住所、準備書の名称、ご意見（日本語）」を明記の上、郵送・ファクシミリ・直接持参のいずれかの方法でご提出下さい。

提出期限：令和4年3月29日（火）午後5時15分まで 必着

提出先：【事業者】岡山県西部衛生施設組合

（〒714-0054 岡山県笠岡市平成町 100 番地 FAX：0865-66-2686）

【県知事】岡山県環境文化部環境企画課

（〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下 2 丁目 4 番 6 号 FAX：086-233-7677）

### 環境影響評価準備書に関するお問い合わせ先

事業者	岡山県西部衛生施設組合 ごみ処理広域化施設建設室	〒714-0054 岡山県笠岡市平成町 100 番地 電話：0865-66-2620 FAX：0865-66-2686
委託先	株式会社エイト日本技術開発 中国支社	〒700-8617 岡山県岡山市北区津島京町 3 丁目 1 番 21 号 電話：086-252-8957 FAX：086-252-8919